

## 阪南市立文化センター及び阪南市立図書館指定管理者候補者の選定について

生涯学習部 生涯学習推進室  
図 書 館

阪南市立文化センター及び阪南市立図書館指定管理者候補者の選定について、4回の選定委員会等を開催し、慎重に調査・審議した結果、次のとおり指定管理者候補者を選定しました。

### 1. 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

### 2. 選定経過

令和4年3月31日 第1回選定委員会開催（指定管理者の選定基準について）  
4月21日 第2回選定委員会開催（募集要項等について）  
5月2日～ 募集要項等の公表  
5月18日 応募説明会・現地説明会  
6月6日～15日 応募受付期間  
6月30日 第3回選定委員会開催（応募2団体による提案説明・質疑応答）  
6月30日 第4回選定委員会開催（指定管理者候補者の選定）

### 3. 応募団体

団体① 大阪共立・図書館流通センターグループ  
団体② 株式会社ケイミックスパブリックビジネス  
以上2団体

### 4. 選定方法及び選定結果

#### (1) 選定方法及び選定内容

第1回及び第2回選定委員会にて、指定管理者候補者を選定するための選定基準、審査項目及び採点方法等を審議した。配点については、委員1名あたり満点を330点とし、選定委員（全9名）の配点合計のうち、最高点と最低点を除いた7名分の評価点の合計を、当該応募団体の総合点とすることとした（満点：330点×7名＝2,310点）。

第3回及び第4回選定委員会にて、各委員が選定基準に基づき採点を行い、指定管理者候補者の第1位と第2位を選定した。

(2) 選定した指定管理者候補者

候補者第1位

団体名称 大阪共立・図書館流通センターグループ

代表団体 株式会社大阪共立

団体住所 大阪府大阪市東成区深江北一丁目10番25号

代表者 代表取締役 福田 昌二

候補者第2位

団体名称 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

団体住所 東京都千代田区神田小川町一丁目2番地

代表者 代表取締役 橋本 鉄司

(3) 総合点

順位	団体名	総合点
第1位	大阪共立・図書館流通センターグループ	1, 714点
第2位	株式会社ケイミックスパブリックビジネス	1, 642点

(4) 選定委員会による指定管理者候補者第1位の主な選定理由及び意見

【主な選定理由】

- ①文化センター、図書館の運営において、管理を安定して行うための団体の事業実績が豊富で、職員の人員配置についての提案が評価できる。
- ②特に、図書館の活性化についての提案が優れており、図書館に関する深い見識と、図書館サービス向上についての提案が評価できる。

【主な意見】

- ①文化センターと図書館を一体的に運営することによる、さまざまな学びを生み出す取組を、積極的に図っていただきたい。
- ②自習室として大ホール・ホワイエの活用を考慮する等、積極的に進めていただきたい。

別表

【総合点】

※選定委員（全9名）の配点合計のうち、最高点と最低点を除いた7名分の評価点の合計を、当該応募者の総合点とする（満点：330点×7名＝2,310点）。

順位	団体名	総合点
第1位	大阪共立・図書館流通センターグループ	1,714点
第2位	株式会社ケイミックスパブリックビジネス	1,642点

【参考】

指定管理者候補者の選定基準及び配点等（最高点と最低点を除いた7名分）

選定基準	評価項目	配点	第1位 大阪共立・図書館流通センターグループ	第2位 株式会社ケイミックスパブリックビジネス
①市民の平等な利用が確保されること	①公の施設の公共性・公平性に対する考え方 ②市民に対する理念・基本方針、意思の反映、利便性の向上に対する考え方 ③個人情報の保護に対する対応方針と社会的弱者への配慮、緊急時の対応	15点×7名＝105点	83点	75点
②複合施設の一体的な運営による新たな魅力の創出が図られること	①管理運営方針 ②広報・利用促進計画・集客対策の考え方及び具体的方策 ③これまで培われてきた活動を活かした、文化センターと図書館の一体的な運用による新たな魅力の創出について	50点×7名＝350点	226点	262点
③管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有すること	①団体の組織の状況 ②団体の事業実績 ③施設の管理運営に必要な資産 ④職員の人員配置 ⑤職員の研修方針と人的能力の確保	50点×7名＝350点	267点	239点
④管理経費の縮減が図られること	①指定管理料見積金額による評価。 ②運営収支計画・経費縮減の考え方及び具体的方策 ③収益性向上、安定した収入確保の考え方及び具体的方策 ④利用料金設定の考え方 ⑤指定管理者に応募する企業(団体)としての社会貢献に対する考え方	55点×7名＝385点	324点	336点
⑤文化芸術振興が図られること	①自主・共催事業の企画内容と収支計画 ②ホール各施設の利用・活用の考え方 ③施設の賑わいづくりの提案 子育て世代へのアプローチ その他の未利用者層へのアプローチ 他施設との連携の考え方	70点×7名＝490点	313点	336点
⑥図書館の活性化が図られること	①図書館の目的と利用・活用の考え方 ②図書館サービスを向上させる考え方 ③図書館未利用者へのアプローチの方法 ④図書館と学校園(所)との連携の考え方 ⑤学校図書館支援の方策	70点×7名＝490点	406点	306点
⑦市民との協働に対する考え方	①市民(団体)や行政と、どこまで親密なコミュニケーションが図れるか ②市民(団体)や行政と、事業を実施する役割を、どこまで分担できるか ③市民(団体)や行政と計画を立案し、どこまで協議しながら実行できるか ④市民(団体)や行政と協力し、どこまで新たな発想でチャレンジできるか	20点×7名＝140点	95点	88点
合計		2,310点	1,714点	1,642点